

# 新聞ボール段紙板

## 多様な高機能化提案

スプリング・ショー  
紙器用グリア実演  
最新オプシジョン

日本紙工機械G



日本紙工機械グループ  
(茨城県利根町、張春華

社長)は3月6・7日の2日間、本社工場(同)で「JPCM Spring Show 2016」を開いた。紙器用グリアを中心に、給紙間隔制御や検査装置等の各種オプシジョン搭載機を実



演、併せてリノベシジョンや部分改造、仕様をパッケージ化した既存機など販売価格を抑えながら生産性を高めるコンセプトを提案した。2日間で約30社60名が参加した。早部慎一郎常務「写真

シジョン装置等の効果を是非実際に確認していただきたい」とした。

質向上に貢献するスチーマー(給紙部)も搭載可能である。

ガンを標準装備、既存機の部品が活用できるタッチメント互換などに

多様なオプシジョンを搭載した板紙E段対応グリア「EF11000P-ASQ」は、4コーナ

なお、EF11000P-ASQの各種オプシジョンは、既存機にも搭載(入替え)可能である。

リノベシジョンについても説明した。25年以上使用したマシンでも電気系統などを最新式に入れ替え、さらに25年以上使用できることがコンセプト。復元させるオーバー

折込み機構のバックフインガーは2軸から3軸に増強、生産性および安定性が向上し4コーナ

「TAKE2パッケージ」も紹介。「ちょうど良い性能と価格。基本性能を向上させ販売価格を下げる」をコンセプトに開発された。操作容易な新式制御をはじめ超高速カウンター、高性能グル

省エネにも貢献する。初回ロット限定価格で先着5台の予約を受付けている。

は、冒頭の挨拶で「今回は、この数年で弊社が培ってきた技術をまとめて紹介する。製造や修理サービス、社会貢献などの観点からユーザーの皆様が安心して未永く使い続けられるマシンの提供を心掛けている。幅広い取組みから様々なアイデアやアイテムが生まれ、さらに内覧会等でユーザーの皆様と共有すれば一層の前進が図れる。カタログ等では解り難いオプ

豊富なオプシジョンを搭載した「EF11000P-ASQ」で最新技術を幅広く紹介

野割れ防止など品

28年3月27日

(二〇一六年)

第二六一九号

毎月7日、17日、27日発行

(昭和35年12月7日。第三種郵便物認可)